

肩こりのいろいろ

第二整形外科部長 木戸 忠人

厚生労働省国民生活基礎調査（平成25年）によると、肩こりは女性が訴える症状の第1位で、男性でも腰痛に次いで第2位と非常にありふれた症状です。しかしながらその病態についてはいまだ不明な点も多く、その厳密な定義も難しいとされています。日本人に特有な症状と思われがちですが、欧米人にも多いとの報告もあり、shoulder stiffness, neck stiffness, neck pain, neck tensionなどいろいろな表現があるようです。

肩こりは症状ですので、これを引き起こす疾患があるはずですが、原疾患が明らかな症候性の肩こりには、肩関節や頸椎由来などの整形外科的疾患以外に、胆石、肝内病変、脾損傷などの消化器系疾患、心血管系疾患、メニエール病、副鼻腔炎などの耳鼻咽喉科疾患、眼精疲労などの眼科疾患、心身症、うつ病などの精神疾患、咬合不全、顎関節症などの口腔外科疾患などがあり、多くの診療科にまたがっています。これらの中には腫瘍、感染、神経症状など重篤な疾患が含まれることがまれにあります。ほとんどの肩こりは原疾患が不明な原発性となります。原因としては姿勢異常、運動不足、精神的ストレス、自律神経の変調、睡眠障害、ホルモン異常などがあります。

“たかが肩こり”と思われがちな症状ではありますが、意外に多くの疾患由来の症状でもあります。漫然とした治療で疾患の見落としが無いように非常に注意すべき症状です。

民謡と三味線の調べが開催されました！

11月17日（木）に中村会による民謡と三味線の調べが開催されました。

入院患者の方々も多数聴きにきていただき、大変満足されたご様子でした。1時間ほどのコンサートでしたが、楽しい時間を過ごせました。

